

国体の本大会が3年ぶり開催

栃木で42年ぶり2度目

第77回国民体育大会「いちご一会」とちぎ国体」は1日、宇都宮市のカ



総合開会式に出席し演技に拍手を送られる天皇・皇后両陛下【代表撮影】

ンセキスタジアムとちぎに天皇、皇后両陛下をお迎えして総合開会式が行われ、11日まで熱戦が繰り広げられた。国体本大会の開催は、新型コロナウイルスの影響で2019年の茨城県以来3年ぶり。栃木県では1980年以来42年ぶり2度目の開催となった。

JSP0（日本スポーツ協会）の伊藤雅俊会長は開会式で「この2年間、アスリートを含む多くの方々が大変な苦勞をしてくれました。この大会に出場する皆さんは悔いのないようベストを尽くし、国体を楽しんでください」とあいさつした。

ツクライミシング男子代表の橋崎智亜選手、同ホッケー女子代表の狐塚美樹選手が選手宣誓。航空自衛隊「ブルーインパルス」による祝賀飛行も観客を楽しませた。本大会では、会期前に実施された水泳などを除く35競技と特別競技の高

校野球が行われた。この大会には昨年の東京五輪代表選手も数多く参加するなど、各競技会場で盛り上がりを見せた。冬季大会を含めて全競技が終了し、天皇杯（男女総合成績）、皇后杯（女子総合成績）はともに東京都が1位となった。開催地の栃木はともに2位と健闘した。栃木国体の競技の決勝は、「国体チャンネル」のアーカ

ウェブで 国体チャンネル 検索



入場行進する選手ら



陸上成年女子800m



アーチェリー成年男子



卓球成年女子



ラグビー少年男子

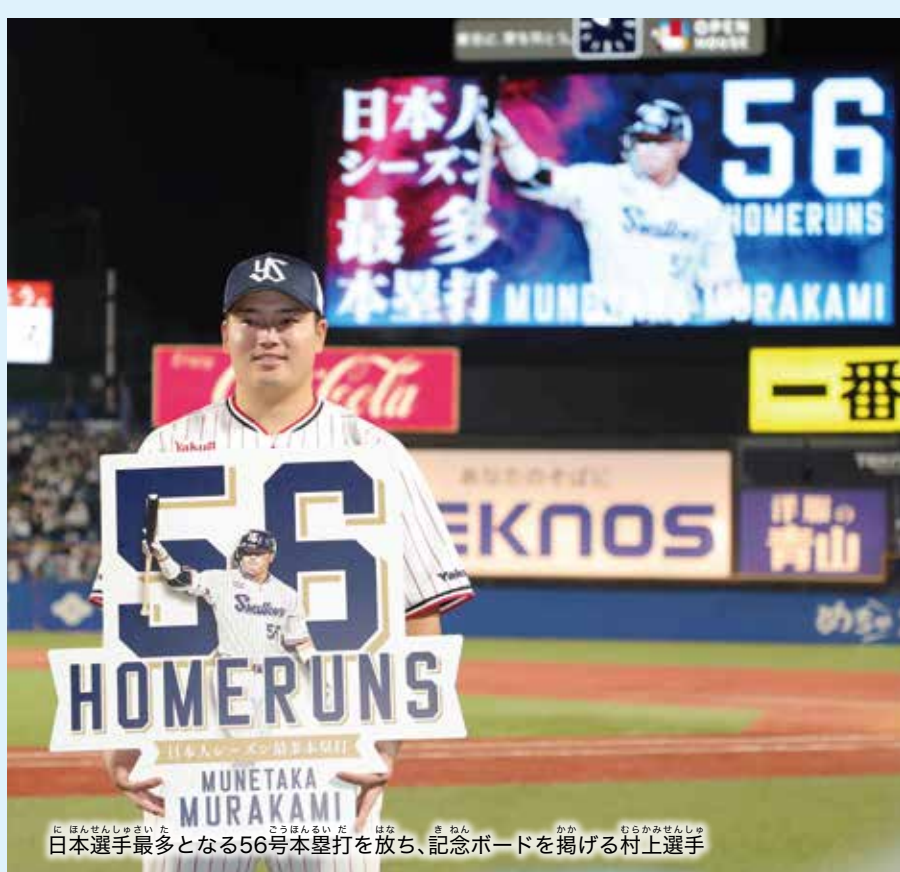
ウェブで いちご一会とちぎ国体 検索

村上選手が史上最年少で三冠王

大谷選手は投打で規定をクリアする快挙

プロ野球セ・リーグのヤクルト・村上宗隆選手が史上最年少での三冠王（首位打者・本塁打王・打点王）を獲得し、米大リーグ（MLB）エンゼルスの大谷翔平選手が投打で規定回数と打席数を初めてクリアし、それぞれ球史に残る大記録を樹立した。

3日、村上選手は打撃主要3部門でトップを独占する三冠王に輝いた。この日の最終戦で、王貞治さん（巨人）を抜く日本選手最多の56号本塁打を放ち、134打点、打率3割1分8厘をマーク。三冠王は2004年の松中信彦さん（タイガー）以来18年ぶりでプロ野球8人目。22歳での獲得は史上最年少となった。村上選手は8月2日に史上初



日本選手最多となる56号本塁打を放ち、記念ボードを掲げる村上選手

の5打席連続本塁打も達成した。

村上選手は「56号を打った瞬間、ほっとした。久しぶりの本塁打だったので、気持ちいいと思った。三冠王の実感はまだ湧かない。1番になることは何でも難しいこと」と大記録の喜びを語った。

大谷選手は5日、アスレチックスとのシーズン最終戦に先発投手兼3番指名打者で出場。投手として5回を投げ、残る1回としていた規定投球回数（162）をクリア。MLB5年目で初めて規定投球回数に到達し、投手として15勝を挙げ、打者としては打率2割7分3厘、34本塁打、95打点の記録を残した。

同一年に規定の投球回数と打席数（503）を上回るのは、ワールドシリーズが始まった1903年以降で大リーグ初の快挙。8月には初めてMLBで10勝目を手にし、1918年のペイブルス（レッドソックス）以来104年ぶりに同一シーズンの2桁勝利、2桁本塁打を達成した。

ウェブで 国体チャンネル 検索



レギュラーシーズン最終戦に登板した大谷選手＝5日



アストロズ戦の1回、先制の34号2点本塁打を放つ大谷選手＝9月11日